

新しい「京都府教育振興プラン」の骨子案の概要

※下表のうち、「網掛け部分」が新プランの特徴点、「ゴシック体の部分」が主な充実点

	現行プランの構成	<考え方>	新しい「京都府教育振興プラン」																																		
プランにおける基本的な考え方	<p>目指す人間像</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史と伝統にはぐくまれた京都の知恵をつなぎ、自然、人、社会とつながる人 ○ 積み重ねられた知恵を活用し、新しい価値を創り出して世界に発信する人 <p>はぐくみたい力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 展望する力 ○ つながる力 ○ 挑戦する力 「包み込まれているという感覚」 <p>施策推進の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会総がかりで取り組む教育 ○ 幼児期から成人までを見通した教育 ○ 京都の力を活かした教育 	<p>社会がどのように変化しようとして、自ら主体的に取り組み、未来の社会を担う人となってほしいという思いを表記</p> <p>上記の目指す人間像の形成に向けて伸ばしたい力を表記</p> <p>はぐくみたい力を支える土台を「教育に関わる者の責務」として新たに打ち出し</p> <p>全ての施策に共通して常に持つておくべき視点として、「多様性の尊重」を追加</p>	<p>目指す人間像</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 変化の激しい社会において、自分の力で考え主体的に行動し、多くの人とつながりながら、幸せな未来の創り手となれる人 <p>はぐくみたい力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 考える力 ○ つながる力 ○ 創造する力 <p>教育に関わる者の責務</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 誰もが「包み込まれている」という包摂的な安心感を実感できる環境づくり ○ 誰もが「自分の存在を受け止め、努力することができる」という自己肯定感を持てる環境づくり <p>施策推進の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・家庭・地域が一つとなってそれぞれの強みを生かして取り組む教育 ○ 幼児期から高等教育等まで校種を越えて切れ目なく学べる教育 ○ 他者を思いやり一人一人を大切にす多様性を尊重する教育 																																		
取り組む施策の方向性	<p>重点目標 ※【】はプランに掲げた施策数</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 質の高い学力をはぐくむ 【13】 2 人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ 【15】 3 たくましく健やかな身体をはぐくむ 【10】 4 一人一人を大切にし、個性や能力を最大限に伸ばす 【28】 5 社会の変化に対応し、よりよい社会の構築に貢献できる力をはぐくむ 【21】 6 安心・安全で充実した教育の環境を整備する 【24】 7 学校の教育力の向上を図る 【24】 8 すべての教育の出発点である家庭教育を支援する 【12】 9 地域社会の力を活かして子どもをはぐくむ環境をつくる 【10】 10 生涯学習社会の実現に向けて学習環境を充実させる 【11】 <p>計 168</p>	<p>何に重点的に取り組んでいくのかを新たに明確化</p> <p>1⇒</p> <p>3⇒</p> <p>2・4⇒</p> <p>6・7・10⇒</p> <p>8・9・5⇒</p> <p>新設</p>	<p>特徴②</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">重点 アプローチ</th> <th colspan="4">I C T 活 用</th> </tr> <tr> <th>学校強靱化</th> <th>個別最適化</th> <th>高校改革</th> <th>働き方改革</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">推進方策</td> <td>1 質の高い学力の育成</td> <td>(13)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 健やかな身体の育成</td> <td>(16)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 豊かな人間性の育成と多様性の尊重</td> <td>(33)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 学びを支える教育環境の整備</td> <td>(54)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 家庭・地域・社会の連携</td> <td>(43)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 文化振興と文化財の保存・継承・活用</td> <td>(9)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※()は再構築後の旧プランの施策数を参考表記</p>	重点 アプローチ	I C T 活 用				学校強靱化	個別最適化	高校改革	働き方改革	推進方策	1 質の高い学力の育成	(13)			2 健やかな身体の育成	(16)			3 豊かな人間性の育成と多様性の尊重	(33)			4 学びを支える教育環境の整備	(54)			5 家庭・地域・社会の連携	(43)			6 文化振興と文化財の保存・継承・活用	(9)		
重点 アプローチ	I C T 活 用																																				
	学校強靱化	個別最適化	高校改革	働き方改革																																	
推進方策	1 質の高い学力の育成	(13)																																			
	2 健やかな身体の育成	(16)																																			
	3 豊かな人間性の育成と多様性の尊重	(33)																																			
	4 学びを支える教育環境の整備	(54)																																			
	5 家庭・地域・社会の連携	(43)																																			
	6 文化振興と文化財の保存・継承・活用	(9)																																			
計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ PDCAサイクルの推進 ○ 関係機関などとの連携・協働 ○ 計画の進捗状況の点検 	<p>地教行法の改正の趣旨を反映するとともに、改めて私学との連携・協働も明記する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ PDCAサイクルの推進とEBPM（エビデンスに基づく政策立案）の確立 ○ 関係機関などとの連携・協働（私学との連携・協働や総合教育会議も明記する） ○ 計画の進捗状況の点検 																																		
表記の順序	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上記の10の重点目標ごとの表記順序 <table border="1"> <tr> <td>① 現状と課題</td> <td>② 基本の方針</td> <td>③ 主な 目標指標</td> <td>④ 主要な施策 の方向性</td> <td>⑤ 主な取組</td> </tr> </table>	① 現状と課題	② 基本の方針	③ 主な 目標指標	④ 主要な施策 の方向性	⑤ 主な取組	<p>「目指す教育の姿」から記述し、それに向けた現状や課題を整理した上で対応する施策や目標指標を示したい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上記の推進方策ごとの表記順序 <table border="1"> <tr> <td>特徴③</td> <td>① 目指す教育の姿</td> <td>② 現状と課題</td> <td>③ 主要方策</td> <td>④ 目標指標</td> </tr> </table>	特徴③	① 目指す教育の姿	② 現状と課題	③ 主要方策	④ 目標指標																								
① 現状と課題	② 基本の方針	③ 主な 目標指標	④ 主要な施策 の方向性	⑤ 主な取組																																	
特徴③	① 目指す教育の姿	② 現状と課題	③ 主要方策	④ 目標指標																																	
目標指標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目標指標の数 大項目 53 (小項目 137) ○ 目標指標の分類 活動指標 29 (小項目 59) 成果指標 24 (小項目 78) 	<p>個々の施策と目標指標の相関関係を1対1で立証することが困難であり、なるべく指標数を増やし多角的評価を行いたい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目標指標の数 大項目 80程度 ○ 目標指標の分類 活動指標 50程度 成果指標 30程度 																																		